

令和7年度 養父市 認知症地域支援推進員活動報告

認知症地域支援推進員について

- 1 認知症地域支援推進員：2名
- 2 認知症地域支援推進員の役割

地域における医療及び介護の連携強化並びに認知症の人及びその家族に対する支援体制の強化を図る

- (1)認知症の人等に対する適切な支援の検討及び関係機関の連携、調整等
- (2)認知症の人等を支援する社会資源の情報収集及び提供
- (3)認知症の人等への支援を行う関係者に対する研修会、交流会等の実施
- (4)市民等に対する認知症に関する正しい理解の普及啓発
- (5)認知症支援ネットワーク会議の運営
- (6)地域ケア推進会議への提言

報告者氏名： 芦川琴乃

養父市 認知症施策全体図

2. あんしん福祉の推進

	施策の方向	具体的施策
あんしん福祉の推進 基本目標2	(1) 介護保険サービスの円滑な提供	①介護保険サービスの質の向上
		②人材の確保
		③介護保険制度、介護保険サービス等の普及啓発
		④介護保険サービスの整備
		⑤サービス提供体制の整備に関する考え方
		⑥介護保険サービスの適正かつ円滑な運営
	(2) 介護予防・生活支援サービスの充実	①総合事業による日常生活支援の推進
		②多様なサービスの充実
		③生活機能向上サービスの充実
		④地域リハビリテーション活動支援事業
		⑤高齢者福祉サービスの充実
	(3) 認知症施策の推進	①認知症予防・早期発見の推進
		②認知症医療体制の充実
		③認知症地域連携体制の強化
		④認知症ケア人材の充実
	(4) 安心・安全なまちづくり	①生活安全施策・事業の推進
②福祉環境施策・事業の推進		

標題 認知症本人ミーティング「想いを聴いて話せる会」

目的：認知症の有無にかかわらず、社会参加を継続しながら地域の中で自分らしく暮らし続けることができる

目標：

- ①認知症の本人が自分の思いを表出できる
- ②本人どうしが交流によりピアサポートを受ける
- ③認知症の本人が社会参加できる

行政目標：

本人の思いをとらえ、事業・施策・計画に反映させる

実施実績：R7.5～毎月第4火曜日に実施。本人4名が参加

活動中の主な話題



- 思い出の話

仕事をしてきた時の話

学生時代の思い出

住んでいる地域の話題や季節の話題

- 好きなこと、趣味の共有

- 本人のギター演奏に合わせた歌唱

活動の中で聞かれた本人の声（要約・抜粋）

- 一緒に買い物に行くが、「買ってはいけない」と言われてしまう。私にも食べたいものがある。お寿司とか。
- 生活の中で違和感があり、認知症と診断された。近隣の冷たい対応などもあり暮らしにくさがあった
- 今まで会の中心になって活動していたのに、最近はできなくなった。集まりには行けない。昔から劇場にコンサートや演劇鑑賞に行くのが好きだった
- 昔は踊りも歌も料理もしていた。ミシン仕事は3度のごはんより好きだった
- 家から小学校までずっと歩いてきたから足腰は丈夫！自信がある
- そば屋をしていた。そばなら打てます！
- 音楽は大好き！ギターが弾けるなんてすばらしい

本人の声をきいて...

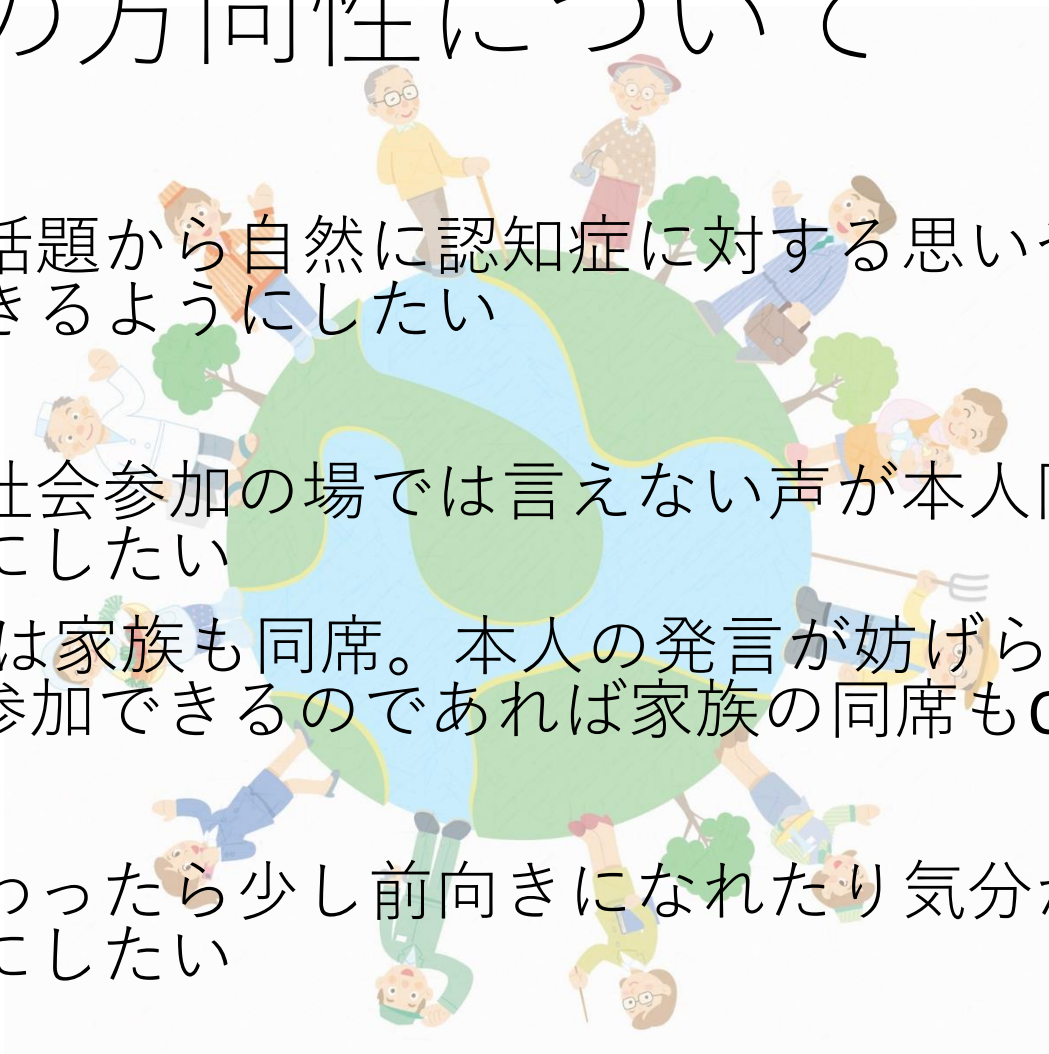
- 「認知症」という認識があってもなくても「できにくさ」や「疎外感」「無力感」を感じている
- ⇒認知症になってからの生活や活動への思いが表出されつつあるのでは？
- 本人の思い出や好きなことから話題が広がっている
 - 本人同士が好きなことを共有したり、お互いが認め合っている

活動における課題

- ただ本人が過ごす場・通う場になっている可能性がある
- 「認知症」の本人の集まりという意識が本人にない
 - 話題にしにくさがある
- 認知症に対する思いや、なってからの気持ち、苦勞、新たな発見、生活の工夫などの表出はあまりない
- 担当者の対応力（話を引き出す力）

今後の方向性について

- 普段の話題から自然に認知症に対する思いや気持ちを表出できるようにしたい
- 家族や社会参加の場では言えない声が本人同士の中に出る場にしたい
(⇒現在は家族も同席。本人の発言が妨げられず、安心して参加できるのであれば家族の同席もOKでは?)
- 会が終わったら少し前向きになれたり気分がすっきりする場にしたい



今後の方向性について

- 本人ができること、やりたいことをつなぎたい
「本人ミーティング」＝「聞いたり話せたりする場」
⇒音楽・料理・踊りなど得意なことをつながりを作る
(他の社会参加の場への参加、認知症の本人による自主グループ化、新たな認知症施策への派生)
- 市の施策や事業に対する本人の声・意見を聞きたい

最後に・・・

- 認知症があってもなくても、その人らしく暮らすことができる地域づくりを進めていきます。
- 本人が、自分らしく暮らすために、自分の思いを気兼ねなく伝えることができ、お互いが支えあったり、社会参加が続けられるサポートを、本人を起点に行っていきたいと思いをします。